

高品質でおいしい 富山米を食卓へ

「ほおばる幸せ。富山米」

1等米比率90%以上!!

今年の夏は暑くなるぞ!
対策を徹底しよう!

2年連続の1等米比率90%以上を目指して、引き続き技術対策の徹底をお願いします!

対策のポイント

- ① 刈取り直前まで稲体活力を維持
- ② カメムシ防除で斑点米発生防止
- ③ 適正作業で胴割れ防止

「高品質で美味しい富山米」への総仕上げ

～今年も一等米比率90%以上を～

1 刈取り直前まで稲体活力を維持!

1 穂揃期の葉色を4.2～4.5(砂壤土は4.5)に誘導

～出穂7日前に必ず葉色診断～

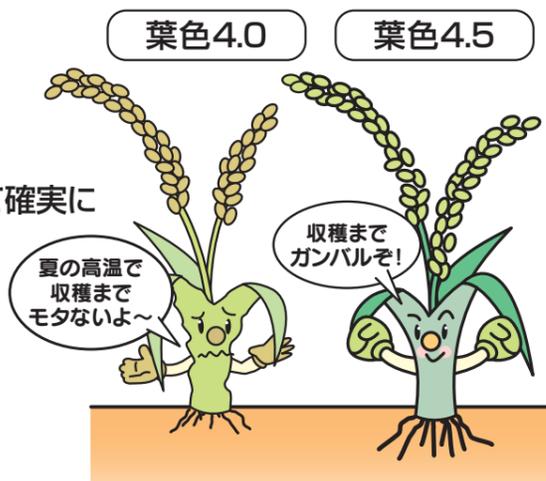
- 肥効調節型基肥栽培で葉色が薄い場合は
**出穂の3日前までに窒素成分で
0.7～1.0kg/10aを施用**
- 分施肥栽培では、2回目の穂肥を土壌に応じて確実に

穂揃期の葉色が薄いと、暑さに耐えられず、



が発生します!

背白粒 や 基白粒

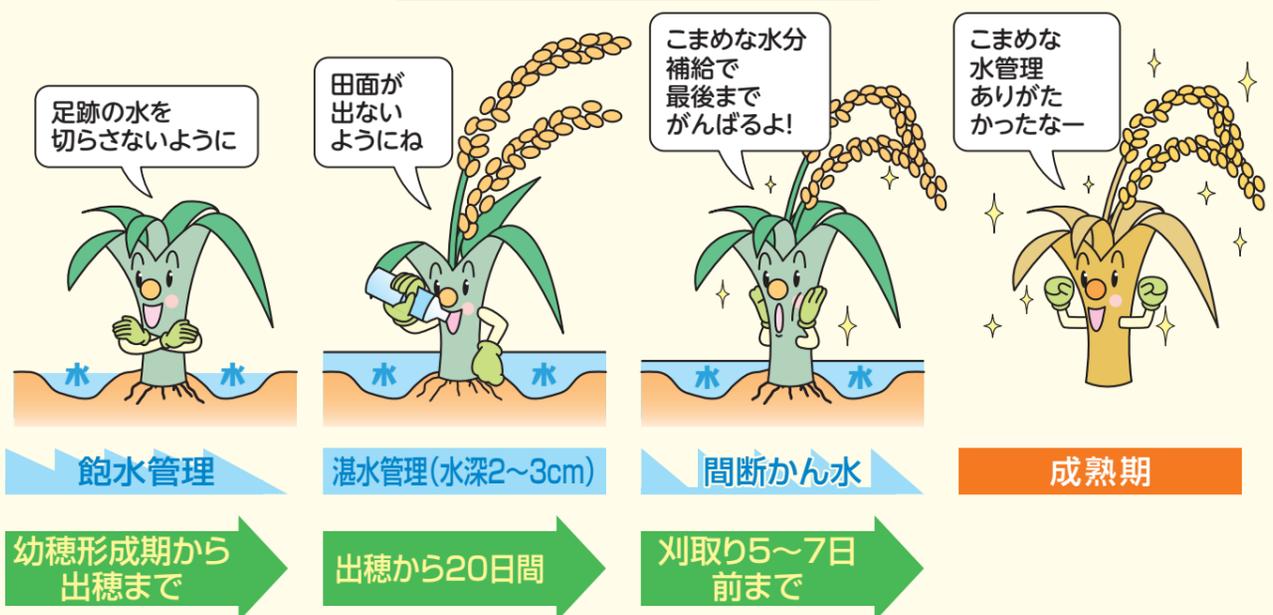


穂揃期の田んぼでは…

2 こまめな水管理

- 幼穂形成期以降は**飽水管理**、出穂後20日間は**湛水管理**
- 刈取り5～7日までは**間断かん水**(フェーンが予想される場合は、事前に入水)

水管理のイメージ



2 カメムシ防除で斑点米発生防止!

- 「てんたかく」など早生品種は穂揃期と傾穂期の2回防除を実施

※防除後もカメムシの密度が高い場合は追加防除

- 防除間隔は7日間を目安に(間隔が長ならないように注意)

カメムシ注意報発令中!



27年産は、カメムシ被害が多かった



アカヒゲホソミドリカスミカメ



アカスジカスミカメ

3 適正作業で胴割れ防止!

1 準備を整えて「適期刈取り」

- 高温で収穫が早回っても対応できるよう、収穫・乾燥調製の準備
- 降雨が続く場合にも備えて手溝の点検

刈取り開始の目安

登熟期間の気温	積算温度	籾黄化率
平年並み	1,000～1,050℃	85～90%
高温	950℃	80%

コンバインの準備が遅れたわ



胴割米が

いちばん困るんだよね～



2 毎時乾減率0.8%以下で「ゆっくり乾燥」

- 収穫時の籾水分に応じた乾燥

収穫時の籾水分	乾燥作業のポイント
25%以上	① 搬入後、2～3時間の通風乾燥 ② そのあと、二段乾燥(籾水分17%で一旦停止、半日後再乾燥)
20%未満	機種標準マイナス5℃の送風温度で乾燥

～仕上げ玄米水分は14.5～15.0%に～



- ◆ 1.9mmふるい目の使用で選別を徹底
- ◆ 施設や設備の点検・清掃を徹底して異品種・異物の混入を防止

高品質な富山米は、「継続的な土づくり」から

◆土づくり資材の散布

—高温に打ち勝つ稲を育てるために—

- ケイ酸は、白未熟粒やカメムシ被害を軽減
- 土中のケイ酸は、すぐに低下するので、毎年施用

◆有機物の施用

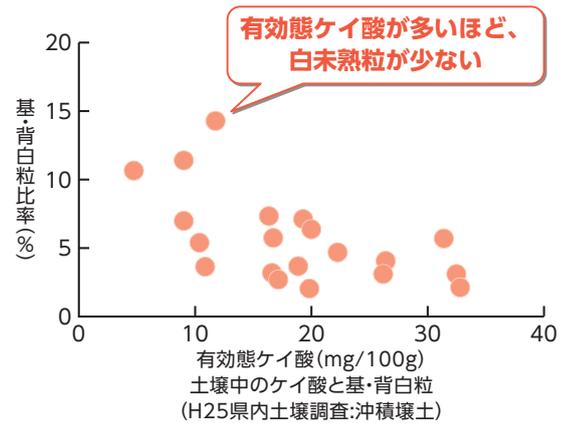
—土の力を向上するために—

- 腐植含量を高めるため、稲わらのすき込みや堆肥の施用、緑肥作物の栽培

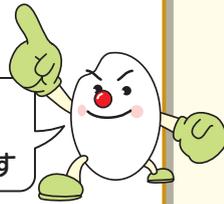
◆深耕の実施

—根を伸ばし土をしっかり使うために—

- 秋耕と春耕の2回がけで、**現状+3cm、15cm以上の作土の確保**
- 秋耕し後は排水溝を設け水はけを良くし、稲わら等の腐熟を促進



土づくりの継続をお願いします



信頼される「安全・安心」な米づくり

消費者に選ばれる富山米を安全に生産するため、「とやまGAP」に取り組ましよう

◆安全な米づくり

農薬・肥料の適正な使用や管理、生産履歴記帳など

◆環境の保全

廃棄物の適正処理、農薬散布後の1週間止水管理など



農薬使用の際は、ラベルを確認

秋の農作業安全運動(8月20日~10月20日)

秋の農繁期には、コンバインによる事故が毎年多く発生します
余裕をもった作業計画を立てるとともに、事故防止対策を徹底しましょう

- コンバイン作業時は衣類が巻き込まれないよう、袖口や裾が締まった服装を選ぶ
- コンバインの詰まりを取り除く時は、必ずエンジンを切る
- 手こぎ作業時は、手こぎ位置や足場を安定化させ、手袋をはずす
- 機械の点検・整備は毎日行う
- 万一の事故に備え労災保険に加入する

安全第一!!
事故は未然に防いでケロ

